

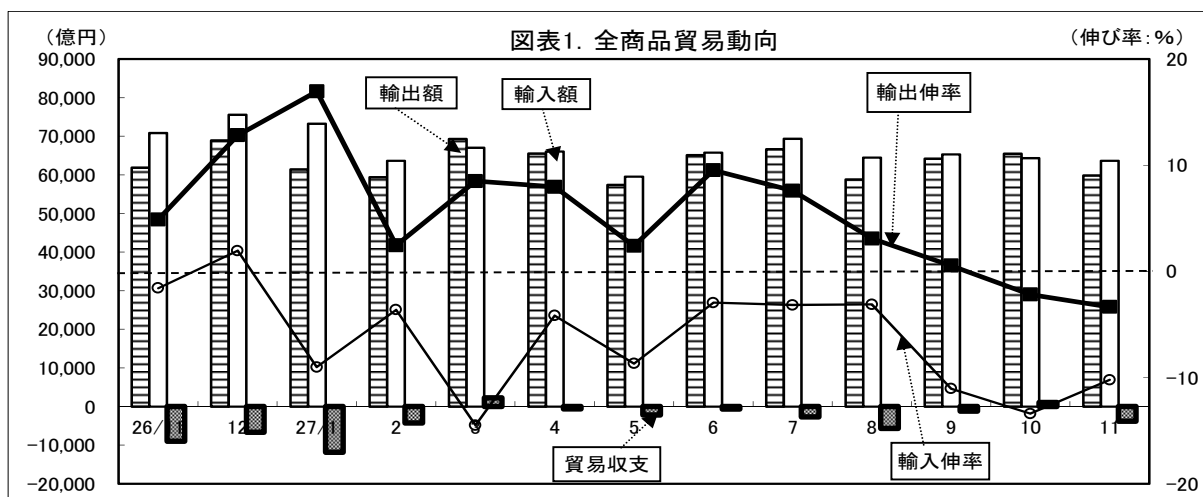
## 最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出伸び率2ヶ月連続マイナス～

日本機械輸出組合 2016.1.18.

平成27年11月の機械輸出額は3兆9,387億円、対前年同月比0.8%減と、2ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①中国はじめ、3地域向けがマイナスとなったこと、②産業機械、電子デバイス等がマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が10.4%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.1%減と6ヶ月連続でマイナスとなった。12月の為替要因は1.3%の増加寄与要因となっているが、1月12日発表の貿易統計速報によれば12月上中旬の全商品輸出は8.6%減であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は2ヶ月連続、輸入は11ヶ月連続でマイナス～

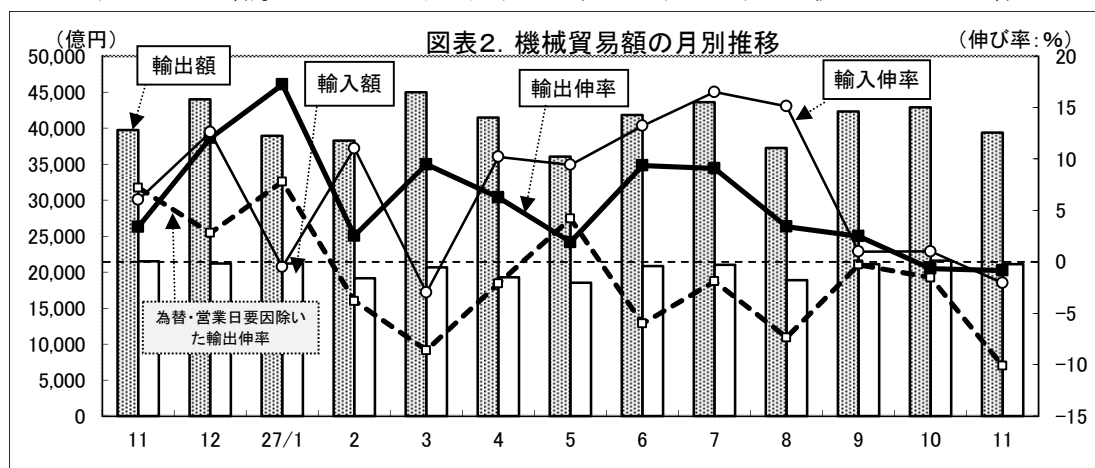
- 平成27年11月の全商品輸出額は**5兆9,812億円**、前年同月比(以下同) **3.3%減**と2ヶ月連続でマイナスとなった(10月2.2%減)。これは、全輸出額の約27%を占める自動車等輸送用機器(13.5%増)がプラスとなったものの、11%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(12.4%減)、18%の一般機械(9.8%減)、17%の電機機器(6.3%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は**6兆3,625億円**、**10.2%減**と11ヶ月連続でマイナスとなった(10月13.4%減)。これは、全輸入額の約11%を占める医薬品等化学製品(30.3%増)、9%の一般機械(7.3%増)が増加したものの、20%を占める原粗油等鉱物性燃料(37.4%減)が原油価格下落で大幅に減少したことや17%の電気機器(6.9%減)がマイナスとなったことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、3,813億円の赤字となった。(10月は1,083億円の黒字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は2ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める11月の機械輸出額は**3兆9,387億円**、**0.8%減**と2ヶ月連続でマイナスとなり(10月0.6%減)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2007年11月)と比べると**78.3%**となり、前月に比べて4.9ポイント悪化した(10月83.2%)。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆1,091億円**、**2.1%減**と8か月ぶりにマイナスとなった(10月1.0%増)。リーマンショック前(2007年11月)の水準と比較しても21.3%増となっている。

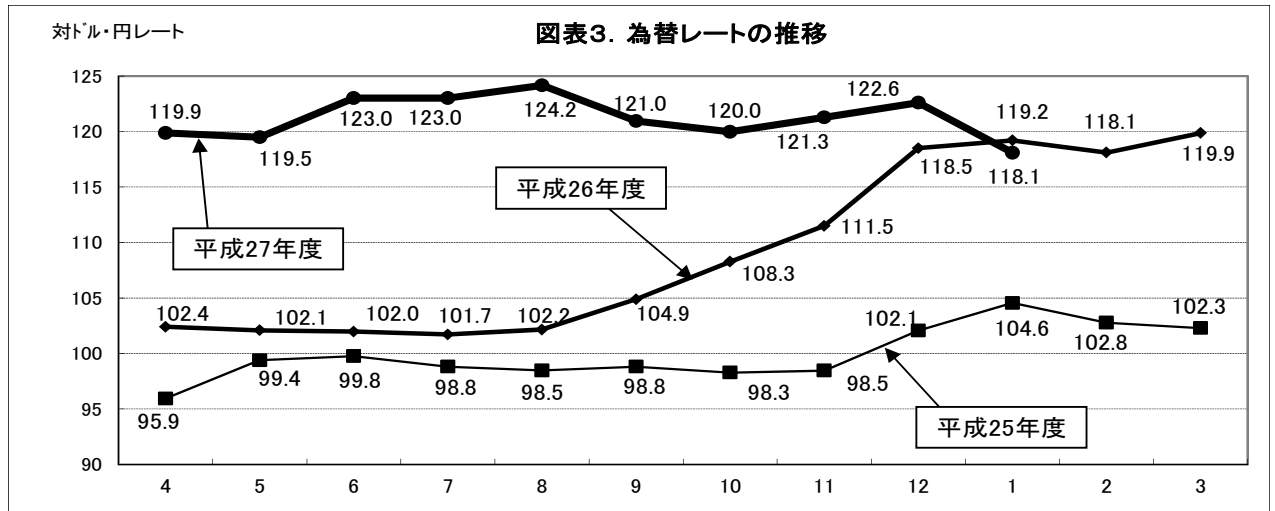


(2) 為替動向・営業日～11月は10.4%の増加要因、12月は約1.3%の増加要因～

1) 11月は1ドル=121.3円となり、前年に比べ8.8%の円安となった。また、対ユーロは133.2円と前年に対して4.9%の円高となり、合わせて約4.5%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.6%の増加要因となり、合計で約10.4%の増加要因となる。11月の輸出額は0.8%減であったことから、実質的伸び率は10.1%減と6ヶ月連続でマイナスとなった(10月1.5%減)。

2) 12月は1ドル=122.6円で前年比3.5%の円安、対ユーロでは132.0円で前年比10.4%の円高となり、合わせて約1.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で1.3%の増加要因となる。

3) 平成28年1月は、対ドルが12月14日17:00時点の118.1円とすれば、前年に比べて0.9%の円高、また、対ユーロは128.2円で10.5%の円高となり、合わせると約1.1%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約1.1%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～中国、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向けが前年同月比マイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①11.9%の EU 向けで、16%を占める産業機械(2.3%減)がマイナスとなったものの、37%を占める自動車(30.1%増)や理化学用機器等軽機械(14.5%増)等がプラスとなって、10.1%増となった。②次に伸びたのは、18.2%のその他地域向けで、中近東(16.8%増)、中南米(8.1%増)、大洋州(8.8%増)向け等が増加し、機種では67%を占める自動車(9.4%増)や船舶(36.4%増)等が大幅にプラスとなって4.7%増となり、③26.3%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の53%を占める自動車(14.8%増)や航空機部品(6.8%増)等が増加して3.3%増となった。

2) 他方、減少したのは、①20.2%を占める中国向けで、全体18%を占める自動車(0.5%増)が増加したものの、産業機械(7.6%減)、電子デバイス(13.1%減)、光学機械(11.5%減)等が減少して9.2%減となった。

②14.4%の ASEAN・南アジア向けは、インドネシア(16.3%減)、シンガポール(14.0%減)、マレーシア(12.3%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の27%の自動車(2.6%増)が増加したものの、22%を占める産業機械(3.4%減)、電子デバイス(23.2%減)等がマイナスとなって6.9%減となり、③9.0%を占める韓国・台湾向けは産業機械(4.2%減)、光学機械(23.3%減)、重電気機械(23.9%減)等が減少して4.9%減となった。

3) また、リーマンショック前の2007年11月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、北米向けが80%台、韓国・台湾、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/9			2015/10			2015/11			対07年 11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,326	2.5	100.0	42,905	▲ 0.6	100.0	39,387	▲ 0.8	100.0	0.78
北米	10,804	10.4	25.5	11,182	5.6	26.1	10,367	3.3	26.3	0.82
中国	8,955	2.3	21.2	9,132	▲ 2.7	21.3	7,955	▲ 9.2	20.2	0.90
ASEAN・南アジア	6,311	2.5	14.9	6,198	▲ 4.2	14.4	5,672	▲ 6.9	14.4	0.95
EU	4,896	4.7	11.6	5,166	7.1	12.0	4,690	10.1	11.9	0.60
韓国・台湾	3,909	11.1	9.2	4,023	8.1	9.4	3,549	▲ 4.9	9.0	0.73
その他	7,451	▲ 11.3	17.6	7,203	▲ 12.1	16.8	7,153	4.7	18.2	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/8		2015/9		2015/10		2015/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,722	3.0	1,908	14.2	1,908	14.2	1,668	▲ 18.3
台湾	1,992	20.3	2,000	20.7	2,000	20.7	1,881	11.4
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,494	▲ 5.8	1,703	7.4	1,703	7.4	1,586	▲ 8.3
シンガポール	917	▲ 1.3	1,085	16.8	1,085	16.8	818	▲ 14.0
インドネシア	670	▲ 9.1	662	▲ 10.1	662	▲ 10.1	580	▲ 16.3
マレーシア	671	5.1	665	4.1	665	4.1	592	▲ 12.3
フィリピン	571	13.3	650	29.0	650	29.0	635	9.5
ベトナム	631	16.8	652	20.6	652	20.6	631	▲ 7.3
インド	369	1.1	398	9.0	398	9.0	412	0.9
パキスタン	132	37.0	134	39.6	134	39.6	133	39.5
<b>その他地域</b>								
中南米	1,970	1.9	2,311	▲ 9.0	2,311	▲ 9.0	2,144	8.1
中近東	1,820	21.4	2,329	0.2	2,329	0.2	2,554	16.8
大洋州	1,137	8.5	1,261	▲ 9.9	1,261	▲ 9.9	1,232	8.8
ロシア東欧等	675	▲ 36.2	954	▲ 28.8	954	▲ 28.8	783	▲ 8.6
アフリカ	592	4.9	611	▲ 28.4	611	▲ 28.4	456	▲ 34.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは7業種。電子デバイス等8業種が二桁のマイナス～

- 業種別では、全21業種中プラスとなったのは7業種で、前月に比べて6業種減少した。業種では、全体の約39%を占める自動車(11.9%増)が6ヶ月連続増加したものの、16%の産業機械(7.0%減)が15ヶ月ぶり、7%の電子デバイス(11.2%減)が16ヶ月ぶりのマイナスとなったことをはじめ、重電気機械(10.6%減)、光学機械(16.2%減)、建設機械(24.1%減)、工作機械(24.4%減)、電子計算機(16.0%減)、ベアリング(11.5%減)、陸用内燃機関(13.0%減)が二桁のマイナスとなり、機械全体で0.8%減となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械の5業種で前月に比べて1業種マイナスとなり、他方、電子計算機、民生用電子機械が30%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/9			2015/10			2015/11			対07/11比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	15,449	5.3	36.5	自動車	15,769	5.2	36.8	自動車	15,391	11.9	39.1	0.85
産業機械	6,464	0.7	15.3	産業機械	6,888	0.0	16.1	産業機械	6,323	▲ 7.0	16.1	0.88
電子デバイス	3,580	8.4	8.5	電子デバイス	3,403	0.7	7.9	電子デバイス	2,924	▲ 11.2	7.4	0.68
軽電気機械	2,215	4.0	5.2	軽電気機械	2,258	▲ 0.2	5.3	軽電気機械	1,926	▲ 3.6	4.9	0.73
重電気機械	1,934	▲ 5.9	4.6	重電気機械	2,080	▲ 11.2	4.8	重電気機械	1,783	▲ 10.6	4.5	0.80
民生用電子機械	1,691	6.5	4.0	軽機械	1,745	1.1	4.1	軽機械	1,558	▲ 2.2	4.0	1.13
軽機械	1,668	11.9	3.9	民生用電子機械	1,734	0.2	4.0	民生用電子機械	1,429	▲ 9.7	3.6	0.36
船舶	1,532	▲ 12.6	3.6	光学機械	1,448	▲ 7.8	3.4	光学機械	1,342	▲ 16.2	3.4	1.01
光学機械	1,430	▲ 8.9	3.4	船舶	1,184	▲ 38.1	2.8	船舶	1,154	15.2	2.9	0.60
建設機械	951	▲ 14.1	2.2	通信機械	906	26.4	2.1	通信機械	708	11.9	1.8	0.76
通信機械	875	33.8	2.1	建設機械	861	▲ 14.6	2.0	建設機械	782	▲ 24.1	2.0	0.60
工作機械	781	▲ 26.8	1.8	航空機部品	846	6.8	2.0	航空機部品	727	5.9	1.8	2.02
航空機部品	767	14.3	1.8	工作機械	777	▲ 14.1	1.8	工作機械	626	▲ 24.4	1.6	0.70
医療機械	529	12.8	1.2	電子計算機	511	3.0	1.2	電子計算機	452	▲ 16.0	1.1	0.36
電子計算機	491	▲ 3.0	1.2	医療機械	451	2.9	1.1	医療機械	461	▲ 2.0	1.2	1.03
ベアリング	390	▲ 1.4	0.9	ベアリング	431	▲ 5.2	1.0	ベアリング	366	▲ 11.5	0.9	1.05
陸用内燃機関	362	4.4	0.9	陸用内燃機関	348	▲ 15.2	0.8	陸用内燃機関	308	▲ 13.0	0.8	0.75
農業機械	235	38.1	0.6	農業機械	260	36.9	0.6	農業機械	192	1.0	0.5	0.98
繊維機械	166	▲ 5.5	0.4	繊維機械	186	4.4	0.4	繊維機械	189	7.4	0.5	0.70
産業車両	140	14.3	0.3	産業車両	143	5.4	0.3	産業車両	120	▲ 4.7	0.3	0.53
鉄道車両	110	114.9	0.3	鉄道車両	65	21.0	0.2	鉄道車両	68	29.1	0.2	0.75
21業種合計	41,650		98.4	21業種合計	42,227		98.4	21業種合計	38,762		98.4	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～鉄道車輛、受信変換その他送受信機器等が大幅増、金属加工機械等が大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は 6 機種で、①ASEAN・南アジア、北米、中国向け**鉄道車輛**(29.1%増)、②中国、ASEAN・南アジア、北米向け**受信変換・その他送受信** (28.7%増)、③北米、その他地域向け**乗用車**(23.2%増)、④その他地域、ASEAN・南アジア向け**船舶**(15.2%増)、⑤ASEAN・南アジア、中国、その他地域向け**発電機**(13.8%増)、⑥中国向け**通信機械部分品**(11.6%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、金属加工機械(28.0%減)、デジカメ・ビデオ(27.1%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2015/9			2015/10			2015/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車輛	110	114.9	農業機械	260	36.9	鉄道車輛	68	29.1
通信機械部分品	505	50.4	産業用ロボット	180	35.4	受信変換その他送受信機器	166	28.7
農業機械	235	38.1	通信機械部分品	508	34.0	乗用車	9,953	23.2
半導体製造装置	1,294	31.1	磁気カード・ディスク等	212	27.1	船舶	1,154	15.2
磁気カード・ディスク等	202	31.0	受信変換その他送受信機器	186	26.3	発電機	88	13.8
TV	125	26.7	半導体製造装置	1,194	24.2	通信機械部分品	374	11.6
理化学用機器	460	23.6	鉄道車輛	65	21.0	機種合計	11,803	* 30.0%
受信変換その他送受信機器	179	18.6	乗用車	9,802	12.9			
航空機部品	767	14.3	TV	124	12.5			
産業車両	140	14.3	機種合計	12,531	* 29.2%			
機種合計	4,017	* 9.5%						

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品: ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター

その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品: 重電機機器部分品、交通管制用機

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2015/9			2015/10			2015/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	781	▲ 26.8	船舶	1,184	▲ 38.1	金属加工機械	231	▲ 28.0
電池	225	▲ 18.1	発電機	107	▲ 28.3	デジカメ・ビデオ	328	▲ 27.1
金属加工機械	258	▲ 17.5	デジカメ・ビデオ	404	▲ 17.2	工作機械	626	▲ 24.4
風水力機械	679	▲ 17.2	電動機	146	▲ 16.7	建設機械	782	▲ 24.1
その他の重電機機器・部分品	438	▲ 17.0	陸用内燃機関	348	▲ 15.2	電動機	124	▲ 23.6
電動機	129	▲ 17.0	建設機械	861	▲ 14.6	その他の光学機器	1,128	▲ 17.8
デジカメ・ビデオ	370	▲ 16.3	電池	225	▲ 14.6	電気・電子計測器	337	▲ 16.5
建設機械	951	▲ 14.1	工作機械	777	▲ 14.1	電子計算機	452	▲ 16.0
船舶	1,532	▲ 12.6	その他の重電機機器・部分品	507	▲ 11.9	その他の配電制御装置	754	▲ 14.1
その他の光学機器	1,203	▲ 10.4	風水力機械	703	▲ 11.8	電池	194	▲ 14.1
機種合計	6,566	* 15.5%	機種合計	5,262	* 12.3%	機種合計	4,956	* 12.6%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、航空機・部品等が大幅減～

1) 11月の機械輸入伸び率は2.1%減と8ヶ月ぶりのマイナスとなった。電子デバイス(1.8%増)、自動車部品(13.3%増)、白物家電(12.6%増)等がプラスとなったものの、携帯電話(42.0%減)、航空機・部品等(14.7%減)が大幅減となったことにより、マイナスとなった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(11.1%減)、ASEAN・南アジア(13.2%増)、EU(5.4%減)、北米(9.9%増)、韓国・台湾(1.1%減)、その他地域(26.2%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2015/9				2015/10				2015/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,654	▲ 7.1	12.6	電子デバイス	2,519	0.7	11.7	電子デバイス	2,455	1.8	11.6
電子デバイス	2,561	0.1	12.1	携帯電話	2,494	▲ 0.3	11.5	電子計算機	1,843	▲ 5.3	8.7
電子計算機	1,959	9.1	9.3	電子計算機	1,762	▲ 17.7	8.2	携帯電話	1,648	▲ 42.0	7.8
自動車部品	1,249	15.0	5.9	航空機・部品等	1,284	14.4	5.9	自動車部品	1,249	13.3	5.9
乗用車	970	3.8	4.6	自動車部品	1,187	6.2	5.5	航空機・部品等	1,082	▲ 14.7	5.1
白物家電	682	10.7	3.2	乗用車	917	▲ 11.8	4.2	乗用車	1,018	▲ 0.6	4.8
航空機・部品等	658	▲ 24.4	3.1	白物家電	695	1.0	3.2	白物家電	790	12.6	3.7
医療機械	639	5.0	3.0	医療機械	644	▲ 0.6	3.0	医療機械	691	11.1	3.3
配電機器	561	4.9	2.7	受信変換その他送受信	544	▲ 0.9	2.5	配電機器	601	13.2	2.8
受信変換その他送受信	518	▲ 1.2	2.5	配電機器	541	4.6	2.5	受信変換その他送受信	559	2.1	2.7
その他の配電制御装置	449	11.9	2.1	試験・検査機	534	112.1	2.5	その他の配電制御装置	432	6.2	2.0
コンデンサー等部分品	405	2.0	1.9	その他の配電制御装置	409	2.1	1.9	時計	387	26.8	1.8
12機種合計	13,305		63.1	12機種合計	13,530		62.6	12機種合計	12,755		60.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等